

madame

LE FIGARO

フィガロジャポン

japon

10/5

特別定価
590 yen

GOURMET

世界5都市・飾り方実例集

クリエイティブの
美的インテリア。

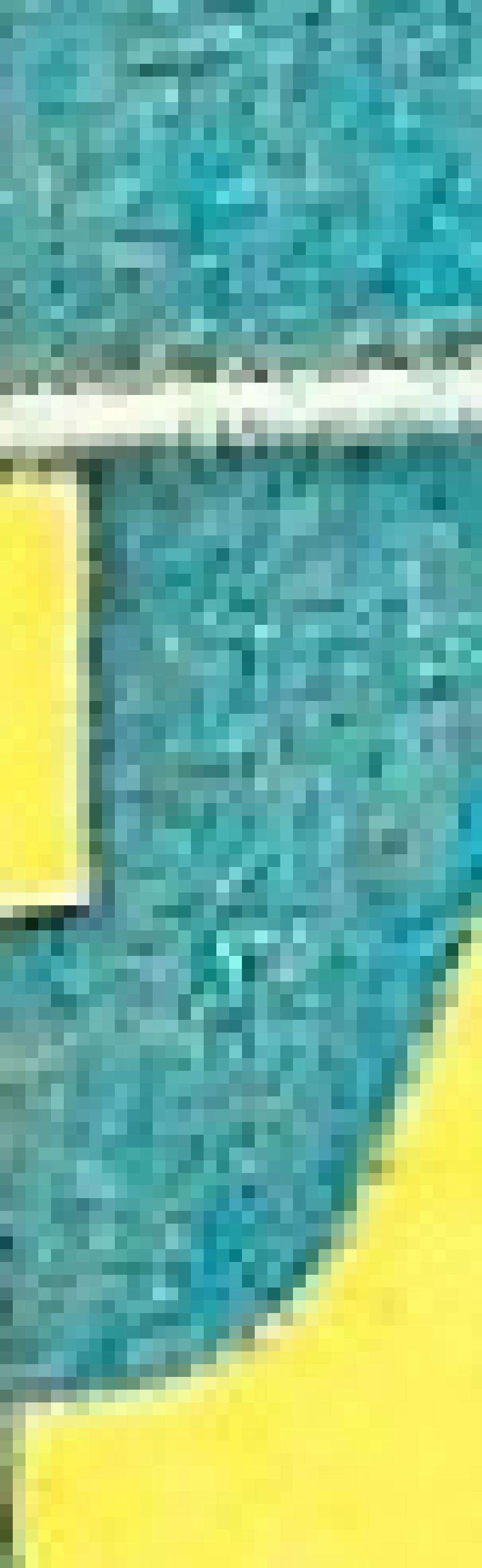
MODE

大人の流行、
ブルジョワ主義。

新作コト下BOOK

欲しい着が見つかる
どじ込み付録週末のリフレッシュ
元気になる郊外のレストラン。





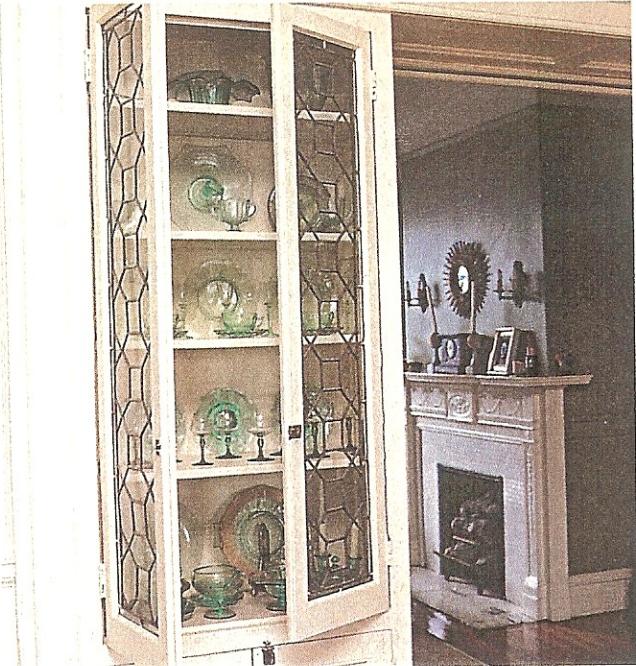
古い椅子もシックに飾る、 巧みなニックス感覚。

シーラ・ブリッジス

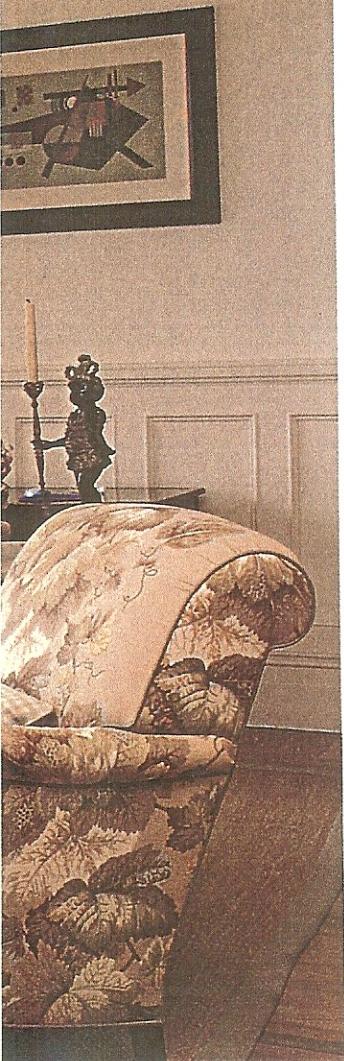
インテリア・デザイナー

異質のものを組み合わせることで、自分らしい空間を演出。新進インテリア・デザイナーの個性的インテリア術は?

PHOTOS NICK RUECHEL, REALISATION NAHOKO HAYASHI, TEXTE ATSUKO TATSUTA



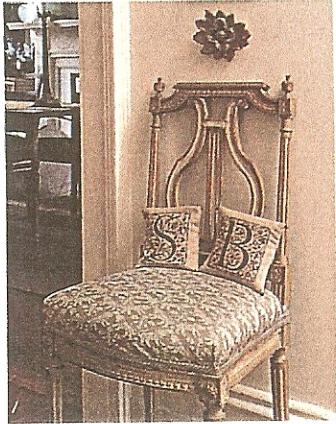
祖父母から受け継いだグリーンのグラスや皿を揃えて飾り、クリーンな印象に。



アンティーク時計を中心に飾った暖炉上のスペース。



椅子の上のイニシャル入りクッションはオリジナル。



Sheila Bridges

フィラデルフィア生まれ。1986年にNYへ。94年にSHEILA BRIDGES DESIGN, INC.を設立。雑誌での仕事のほか、数多くのインテリアデザインを手がけている。99年9月には、NY州ハドソンに彼女のオリジナル家具などを扱うSHEILA BRIDGES HOMEをオープン。



新開発の進むハーレムに20世紀初頭から建つランドマーク・ビルにインテリア・デザイナー、シーラ・ブリッジスのオフィス兼住居はある。「自分と同じような若い世代の黒人の人々に快適な暮らしを提供したい」とここにオフィスをもつたが、彼女のデザインはいま、人種も国籍も超えて幅広く人気を獲得しつつある。

そんなシーラ自身のアパルトマンのインテリア・コンセプトは、「ミック・ス・オブ・ディファレンス」。「素材、デザイン、作られた年代や様式などが違う家具や小物をうまくミックスさせて、いかに自分ならではの気持ちのいい空間をつくるかがポイントです。たとえば、リビング。ソファは新しいものですが、そこに古い本棚を置き、アンティークの時計、蚤の市で

買った小物などを飾ります」

クラシックな椅子の上にポンとモダンなクッションを置いてしまうような大胆さと意外性がシーラのインテリアの魅力だ。歴史あるアパルトマンの部屋 자체は重々しいのに、部屋に歩入るなり感じたのは親近感だった。この部屋の心地よさも、この辺に秘密がありそうだ。また、美しいルイ16世時代のアンティークの椅子にしても、座つてみると吸い込まれそうに心地がいい!「インテリアは、心から愛せるひとつつの家具を見つけることから始まります」の言葉どおり、お気に入りを探すためには、オーダーショップからノミニの市まで、労を惜しまずに出かけるとか。美しく、心地よく、住みやすく。この当たり前ののようなコンセプトを具現化した空間は、一日にしてならず。



